

CLEAN &
CREATIVE

人と、社会と、地球の
みらいをカタチに
CSR 報告書 2021

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



CONTENTS

企業理念

会社概要	2
品質・環境マテリアリティ	3
トップコミットメント	4
企業理念	8
環境活動及びCSRに関する取り組み経過	8
全社組織	9

品質環境活動（SDGs 活動）

SDGsの取り組み	10
主な完成工事	12
環境方針	31
環境目的・目標	32
品質・環境活動	34
環境教育	36
現場環境改善	40
地域への貢献	44
働き方改革	48
自社の環境活動	52
カーボンニュートラル	54
事業所一覧	57

編集方針

この報告書は、みらい建設工業に関係する皆様に、みらい建設工業の環境活動をできるだけ分かりやすく、お知らせすることを目的として作成しています。

弊社は、社会のインフラ整備を生業とする建設会社であり、お客様の満足する高品質の製品を提供し、自然環境の創造と保全に努め、社業の発展を通じて社会に貢献することを使命とする環境にやさしく創造的な会社と考えています。本報告書を通じて、環境社会活動をご理解頂き、忌憚のないご意見を頂けますようお願い申し上げます。

報告書の対象期間

- ・2019年度～2021年度
- ・報告書は2019～2021年度の写真等を掲載しています。
- ・発行月：2022年6月
- ・作成部署：安全品質環境本部 品質環境部

会社概要

- 商号 未来建設工業株式会社
- 本社 〒108-0014 東京都港区芝四丁目6番12号
- 代表者 代表取締役社長 石橋 宏樹
- 資本金 25億円
- 建設業許可 特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-3)第5678号
産業廃棄物収集運搬業許可 大阪市長許可 第6600109774号
- 登録 建設コンサルタント登録 国土交通大臣登録(建01)第2034号
測量業者登録 国土交通大臣登録 第(11)-6744号
宅地建物取引業者登録 東京都知事登録 第(4) 第81837号
一級建築士事務所登録 東京都知事登録 第51761号
土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録 環境大臣指定 環2003-3-2014号
- 認証 ISO 9001:2015 JUSE-RA-1437
ISO14001:2015 JUSE-EG-130
ISO45001:2018 JUSE-OG-034
- 売上高 264億円(2022年3月)
- 従業員数 311名(2022年3月)



品質・環境マテリアリティ

脱炭素社会 循環型社会
自然共生社会 働き方改革

再生可能エネルギー、環境配慮型事業への取組み

- ①外洋大深度における「新技術開発・技術提携」
- ②陸上風力・太陽光発電事業
- ③「カーボンリサイクル事業」「化石燃料に代わるエネルギー供給施設整備事業」

社員のエンゲージメント向上

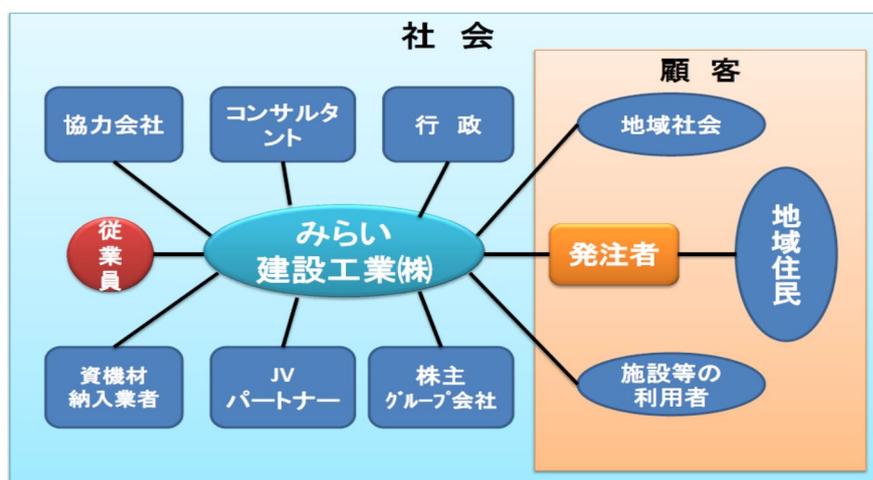
- ①働き方改革への継続的な取組み（社内書類簡素化、時短・有給休暇取得の推進）
- ②経営陣と社員代表が定期的な意見交換を行い、労使ともに納得感のある経営改善への取組み

社員のスキルアップ

- ①教育の拡充・見直しによる社員能力向上への取組み
（会社にご貢献できる資格取得に対するサポートの拡充など）
- ②社員のジョブローテーションによるスキルアップへの取組み
（ゼネラリスト・スペシャリストの棲み分け、評価基準などを再構築）
- ③若手への技術の伝承を推進する取組み



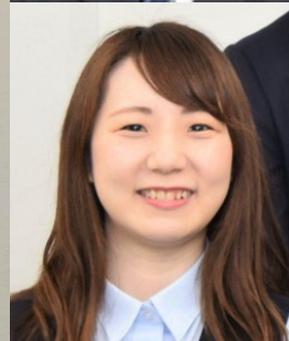
品質・環境におけるステークホルダー



トップコミットメント

今を創り、『みらい』を育てる

今年度就任した石橋社長のSDGs取組みに対する社長目標と
若手社員とのコミュニケーションをご紹介します。





石橋代表取締役社長

弊社は総合建設会社で、特に海洋土木のジャンルに強みを持つ「マリコンストラクター（通称マリコン）」として広く認識されております。

建設業が担う社会的な役割に対して、弊社も大きな使命を持って社会に貢献しています。その使命としては、大きく以下の2点が挙げられます。

一つ目は、国土と国民の命を守ることです。海に囲まれた海洋国家であり、また、地震が多い我が国では、防波堤などの港湾構造物が国土を守るための大きな役

目を担っています。港湾整備は、災害から国民とその財産を守ることはもちろん、物流を担う運搬船や船旅を提供するクルーズ船など、船舶の往来にも必要不可欠な事業です。これまでも、そして、これからも、わが国の永続的基幹産業として建設業の担う使命が変わることはありません。

二つ目は、事業を通して社会に貢献することです。建設業は、港湾、空港、高速道路、鉄道、そして住宅や公園など、人々が安心して生活できる、豊かな暮らしの基盤を築いています。

サステナビリティ

人と、社会と、地球の“みらい”をカタチに



「海の豊かさを守ろう」

SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」ですが、私が入った1980年代は、社会全体の環境保護への認知度が浅く、海は赤潮で濁っていて、海水浴もできない浜もたくさんありました。

港湾土木工事をメインとしている弊社にとって、海の豊かさを守ることは、最も責任のある取り組み項目と考えています。

全国に展開しているそれぞれの現場が、たとえ小さなことでも継続して活動すれば、会社全体としては環境保

護に大きく貢献できるという考えのもと社員全員で活動しています。

海洋汚染の原因となる「油の流出」については、各現場の工事開始の段階で、職員・協力会社作業員全員で「万一、油が流出した場合に備え」対策訓練を実施しています。

また、各地域で開催される海岸清掃活動等には積極的に参加しております。

技術的には、海底を掘削する際に濁りが発生しますが、これが拡散しないように汚濁防止膜で囲う工法開発もおこなっております。





弊社には現在ミャンマー出身の正社員技術者4名が在籍しており、みな真面目に日々の仕事に取り組んでいます。先輩の2人は日本語もペラペラで、1人は既に1級土木施工管理技士の資格も取得しました。もう1人も本社技術部で新しい技術の現場指導やCIMを始めとする新しい工事管理手法を学び、社内の最先端を走ってもらっています。彼らが、日本に定住して結婚し、幸せな家庭を築くことも会社の大事な責任だと思っています。

また、男性・女性の業務上の区別はなく、「ヤル気・知識・能力」で現場の第一線で活躍している人も増えてきました。弊社で初めての女性部門長が誕生し、今後も男女の区別なく、適材適所で活躍してもらいます。

弊社は若い技術職が多いことが特徴の一つであり、彼らが早い段階で一流の工事管理者として活躍できるよう、それぞれのレベルに応じた社内教育に力を入れており、彼らの新しい発想での現場運営にも期待しています。またベテラン社員（Master社員）から学び得た技術・知識を新しい技術へとつなげ、競争力を培ってほしいです。



これは「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」にも通じる場所ですが、食品の廃棄を抑えることと同様に、電気・ガス・ガソリン・機械の燃料などの資源を節約・効果的に使用することが大切であると考えています。

また、私は建設会社として造り上げたものを永くお客様に利用してもらえるように、品質の良いものを造り上げることが責務であると考えています。

公共工事では、発注者が長期活用のための様々な製品仕様を定めていますが、民間のお客様には、これまで培った技術と経験をベースに私たちが提案していく必要があります。



弊社では、品質向上のため納品前の社内検査を実施しており、納品後のアフターケアまで配慮した提案もおこなっていく計画です。

弊社では実績のある太陽光発電、海流発電実証事業などに加えて、陸上風力発電、洋上風力の付帯施設、CCUS事業、自家消費型発電事業に積極的に挑戦しています。

また、クリーンエネルギー工事を施工するだけでなく、保有船や保有機械においても環境配慮型の設備投資を目指しています。老朽化したポンプ浚渫船の代替えとして、化石燃料を使用しない作業船新造の検討にも入っております。

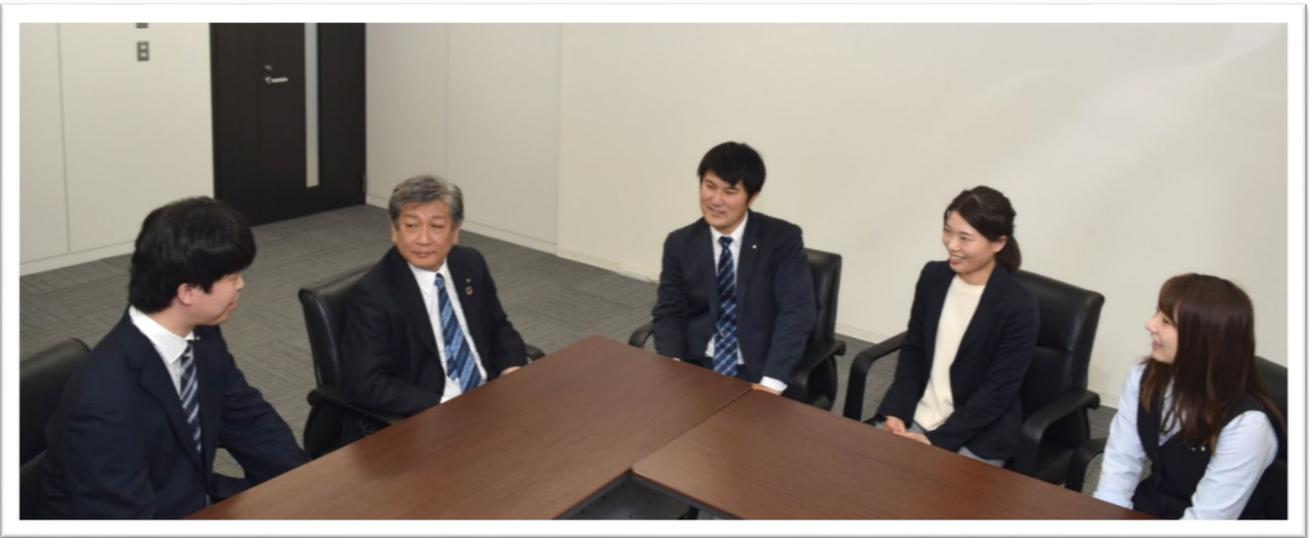
CCUS 事業：火力発電所等からの排ガス中の二酸化炭素(Carbon dioxide)を分離・回収(Capture)し、有効利用(Utilization)、又は地下へ貯留(Storage)する技術

8 働きがいも
経済成長も



「働きがいも経済成長も」

全ての社員が働き甲斐ある会社とするため、エンゲージメント委員会を設置しています。個々の社員と会社と一緒に成長できるように様々な改革を進めています。



2022年5月

代表取締役社長 石橋 宏樹

企業理念

- 経営目標 我が社にかかわる多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような、ユニークなグッドカンパニーを目標とする。
- 経営姿勢 経営目標達成のため、よりビッグでよりハイプロフィットな企業を目指す。ただし、自然や社会との共生を計り、不正や不当な手段による社益の追求は勿論、浮利を追うなど利益第一主義に陥ってはならない。
- 存在意義 我が社は創意工夫と確かな技術のもと、自然環境の創造と保全に努め、お客様の満足する高品質の製品を提供し、もって社業の発展を通じて社会に貢献することを使命とする C&C カンパニーである。



(Clean&Creative)※環境に優しく創造的な

品質方針

みらい建設工業は、持続可能な社会の構築に向け、「創意工夫」と「確かな技術」の経営姿勢のもと、設計・施工及びアフターケアに至るまで、業務の質の向上に努め、顧客の満足する品質の製品を提供すると共に、高質な社会資本の整備に貢献します。

環境活動及びCSRに関する取り組み経過

- 2003年11月 ISO14001 認証取得(本社・9支店、土木構造物の設計・施工、アスファルト合材の製造・販売)
- 2017年12月 ISO14001 定期審査及び、移行審査
- 2018年 3月 「CSR報告書2016」の発行
- 2018年 8月 ISO14001 更新審査
- 2020年 5月 「CSR報告書2019」の発行
- 2020年 7月 ISO14001 定期審査
- 2021年 6月 ISO14001 更新審査
- 2022年 6月 「CSR報告書2021」の発行

マネジメントシステム活動状況

① 外部審査

環境マネジメントシステムの更新審査(取得後17年目)を受審しました。

実施日：2021年6月28日～6月30日

認証登録機関：(一財)日本科学技術連盟

審査結果：軽微な不適合……0件

重大な不適合……0件

② 内部監査

実施日(定期監査)：2022年1月17日～2月15日

総監査数：33件

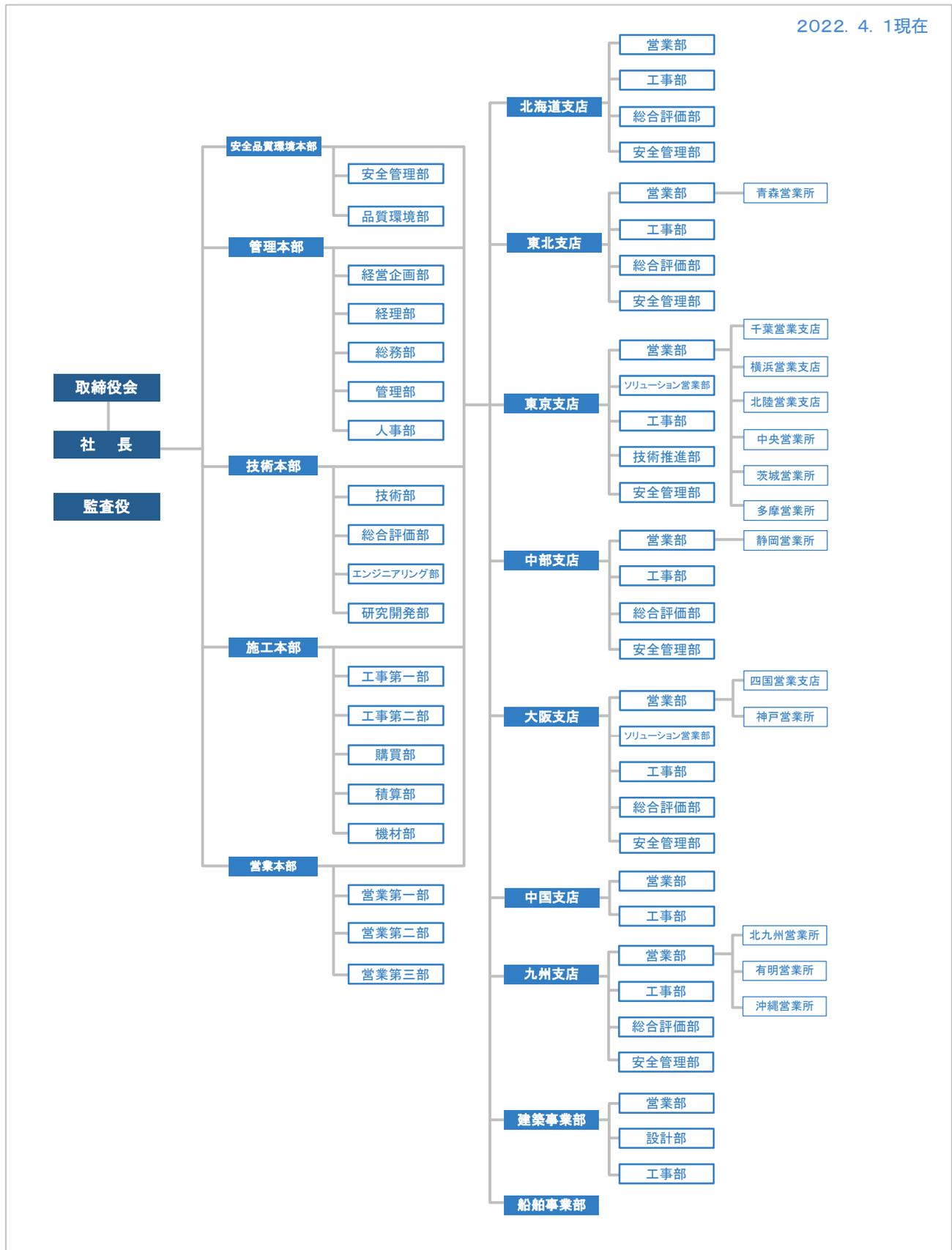
監査結果：軽欠点……5件

重欠点……0件

勧告……18件

全社組織

企業の社会的責任と環境活動をより効果的にするために、組織変更を行い運用しています。



SDGsの取り組み

みらい建設工業は「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す」というSDGsの達成に貢献できるように積極的に取り組んでいきます。



項目	取組内容
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;"></div> </div>	<p style="text-align: center;">環境活動</p> <p>[作業所]</p> <p>(1)環境法令順守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規制の特定・周知 ⇒ SDGs ゴール3・11・12・14・15 ・産業廃棄物適正処理: 電子マニフェストに続き電子契約の導入を推進 <p>(2)循環型社会への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生資源の有効利用(ISO14001:再資源化率目標設定) <p>(3)地域への環境負荷の低減および汚染の防止、地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ SDGs ゴール11・14・15 ・振動・騒音・粉塵の低減、大気汚染・水質汚染防止(汚濁防止枠・防止膜の設置、周辺海域の汚濁測定) ・地域の環境保全としてクリーン活動(現場周辺の清掃・草刈り等)の実施、豪雨等による流木等漂流物 ・事業場周辺環境により、周辺環境や生き物の保全活動(希少種の野鳥等保護、生息地の整備等)等を通じた地域環境への配慮 ・自然環境への取組み内容を竣工検査時に報告 <p>(4)環境関連の緊急事態対応訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ SDGs ゴール11・12・14・15) ・作業船等よりの油流出の緊急対応として緊急用油液処理キットを配置 ・緊急事態対応訓練の実施による対応手順(手順書)の確認を着工後早期に実施 <p>(5)その他の環境関連活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業所環境の改善 ⇒ SDGs ゴール8 ・快適トイレ(男女別)・移動式トイレ(車上)、分煙室等の設置 ・熱中症対策、コロナ対策 ・資源有効利用: 間伐材を利用した製品(工事掲示板、工事看板等)の使用 ⇒ SDGs ゴール15 <p>[本社・支店]</p> <p>(1)法令順守の取組み: 産廃の適正処理 ⇒ SDGs ゴール12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストの導入に続き、産廃電子契約システムの導入 <p>(2)本社および支店安全環境パトロールの実施</p> <p>(3)地域環境への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン活動(自治体等の活動への参加) <p>(4)パートナーシップの推進 ⇒ SDGs ゴール17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力会社との安全環境活動の実施(合同パトロール等) ・各種団体・協会活動への参加 <p>(5)環境教育・環境活動水平展開の実施(持続可能な開発のための教育(ESG)の展開) ⇒ SDGs ゴール4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層別社員教育における環境関連教育 ・作業所環境活動の水平展開(インフォメーションにて四半期毎) ・環境関連ポスター等の配布 ・今後の取組み: 環境関連情報の収集、整理、情報提供 (日建連環境ホームページ等の活用、展示会・イベントへの参加等)

項目	取組内容
カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量の削減 ・排ガス対策型建設機械の使用 特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律(オフロード法)に適合した、オフロード車の使用。 ・再生可能エネルギーの活用

2022年度 基本テーマである 社員のスキルアップと技術の伝承



新入社員研修





主な完成工事



※2021年度 CSR 報告書掲載の完成工事のみ記入



胆振海岸保全工事の内 白老東町人工リーフ建設工事【北海道】



作業船誘導システム使用





八戸港八太郎・河原木地区泊地(埋没)浚渫工事【青森県】





横手西部農業水利事業 吉田幹線排水路(その16)工事【秋田県】





02県単常臨 第02-06-090-0-004号 浚渫土砂処分場 護岸築造工事(②工区)【茨城県】



捨石法面均し管理システム活用





千葉市美浜区稲毛海岸2丁目 (PAT 稲毛) 計画 B 街区造成工事【千葉県】



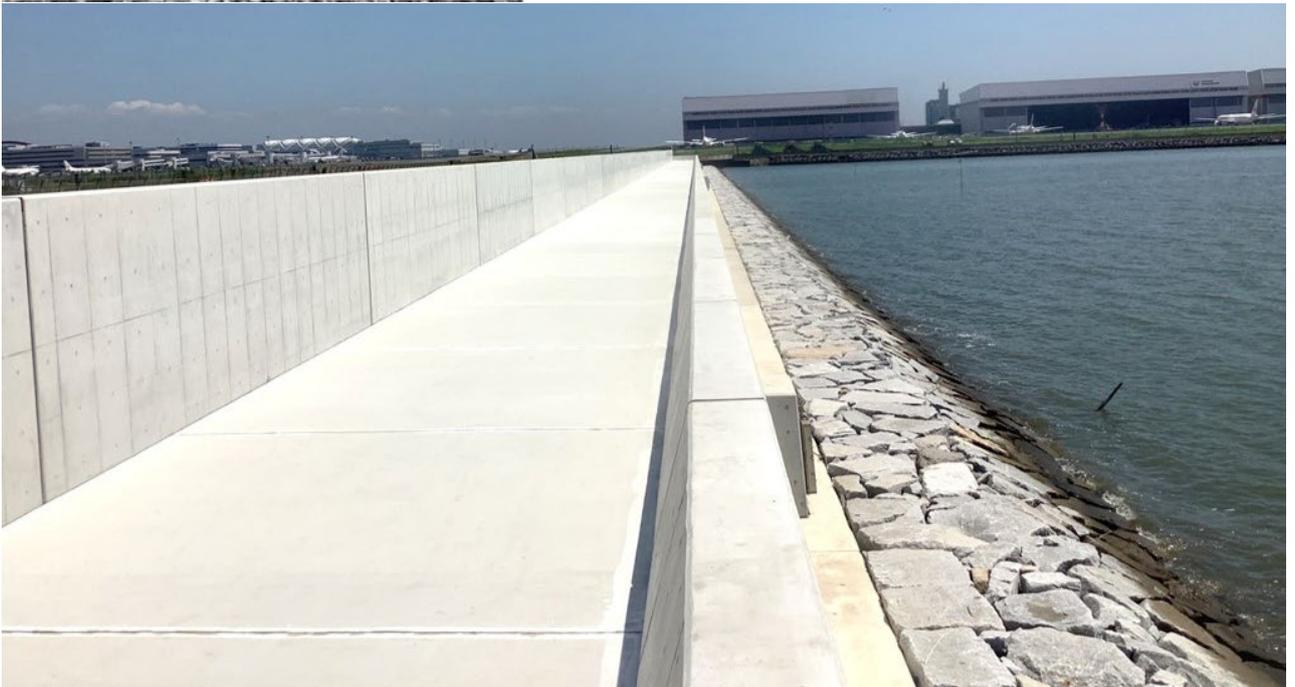
パワーブレンダー工法施工



東京国際空港多摩川護岸改良工事【東京都】



タイヤローラーで路盤転圧





小山片所土地区画整理事業 土木工事【東京都】



桜の木を残した道路施工

宅地内の公園施工
※公園下は調整池





港湾施設応急復旧工事(内港地区)その2【神奈川県】





令和2年度美和ダム再開発ストックヤード浚渫工事【長野県】





長良川福原河道しゅんせつ工事【愛知県】





新名神高速道路上田上牧工事【滋賀県】



重機のICT施工





大阪湾岸道路西伸部六甲アイランド第五高架橋 PE16基礎工事【兵庫県】





国際拠点港湾広島港出島地区埋立3工区地盤改良工事(1工区)【広島県】





令和3年度三池港(内港北地区)航路(-10m)浚渫工事【福岡県】





令和3年度別府港(石垣地区)防波堤基礎工事【大分県】





海流発電システムの長期実証試験【鹿児島県】



© 2022 IHI Corporation/NEDO



© 2022 IHI Corporation/NEDO



© 2022 IHI Corporation/NEDO



那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-12m)築造工事(第2次)【沖縄県】





令和2年度石垣港(新港地区)泊地(-10m)外1件浚渫工事【沖縄県】





環境方針

みらい建設工業は、持続可能な社会の構築に向け、環境を大切に守り、自然環境の保全と創造に努め、また共生・再生を図りながら、確かな技術で環境に優しく創造的な企業をめざします。

活動方針

1. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを確立し、運用し、システムの有効性を継続的に改善します。
2. 環境に関連する法規制および当社が同意するその他の要求事項を明確にして順守します。
3. 環境目標を定めて展開し、実施結果に基づき定期的に見直します。
4. 環境への取り組み
 - (1) 環境負荷の低減及び汚染の予防のために、以下の活動項目を定めます。
 - ①省資源・省エネルギー・電力量削減に努めます。
 - ②再生可能エネルギー事業への参画を通じ、地球温暖化防止に努めます。
 - ③地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量の低減に努めます。
 - ④油類の漏洩、流出防止および海上・河川の濁りの防止に努めます。
 - ⑤土壌汚染の防止に努めます。
 - ⑥建設副産物の発生の抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理に努めます。
 - (2) より良い環境の推進に努めます。
 - ①環境に関する保有技術を積極的に活用し、有効な技術の開発を進めます。
 - ②環境にやさしい企画、環境配慮設計(提案含む)、施工を推進します。
5. 地域住民との密接なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。
6. 環境意識を高めるための教育等を行います。
7. 環境方針を一般の人々に公開します。



環境目的・目標

2019年度～2021年度の活動結果を報告します。

活動項目	目的	
	目的	到達点(2021年度目標)
<p>省資源・省エネルギー・電力量削減</p> 	<p>①会議体でのタブレット使用等によるペーパーレス化 ②電力量の削減（カーボンニュートラルへの取組み）</p> 	<p>①会議体でのタブレット使用等によるペーパーレス化 ①・②節電、クールビズの実施等による運用管理の継続・実施</p>
<p>顧客満足度(社会貢献)の向上</p> 	<p>①地域社会貢献への貢献</p> 	<p>①社会貢献度達成率 :30%以上 *社会貢献度:公共工事評価点による地域貢献実施件数のうち有効件数の割合</p>
<p>建設副産物の3R 推進</p> 	<p>①現場における再資源化の促進による、廃棄物の削減</p> 	<p>①再資源化実施率:97% (再生処理量/全処理量)</p>
<p>水質汚染の防止</p> 	<p>①海洋環境保全</p> 	<p>①油流出事故発生件数:0件</p>
<p>脱炭素社会への取組み</p> 	<p>脱炭素社会への貢献 ① 再生可能エネルギー工事の受注推進 ② CO2排出量の削減</p> 	<p>① 受注金額:13.2億円以上 ②・排ガス規制重機・車両の使用 :100% ・ハイブリット重機・連絡車の導入 :30%(2021年度より目標設定)</p>

目 標 値			結 果		
2019	2020	2021	2019	2020	2021
①・②運用管理 による継続: カラーコピーの削 減、電力量の削 減	①・②運用管理 による継続: タブレット配布に よるコピーの削 減、電力量の削 減	①・②運用管理 による継続: タブレット配布に よるコピーの削 減、電力量の削 減	①・②運用管理 の継続実施 ・現場事務所にて 太陽光を活用	①・②運用管理 の継続実施 (タブレットの配 布・活用) ・現場事務所にて 太陽光を活用	①・②運用管理 の継続実施 (タブレットの配 布・活用) ・現場事務所にて 太陽光を活用
①社会貢献度: 30%以上	①社会貢献度: 30%以上	①社会貢献度: 30%以上	①社会貢献度: 64.1%	①社会貢献度: 49.2%	①社会貢献度: 57.9%
①再資源化 実施率:97.0%	①再資源化 実施率:97.0%	①再資源化 実施率:97.0%	①再資源化 実施率:96.6%	①再資源化 実施率:96.6%	①再資源化 実施率:96.6%
①油流出事故: 0件	①油流出事故: 0件	①油流出事故: 0件	①油流出事故: 0件	①油流出事故: 0件	①油流出事故: 0件
①受注金額: 25.0億円	①受注金額: 25.0億円	①受注金額: 13.2億円	①受注金額: 4.0億円	①受注金額: 8.8億円	①受注金額: 4.8億円
②排ガス規制重 機・車両の使用: 100%	②排ガス規制重 機・車両の使用: 100%	②排ガス規制重 機・車両の使 用:100% ・ハイブリッド重 機・連絡車の 導入:30%	②排ガス規制重 機・車両の使用 :100%	②排ガス規制重 機・車両の使用 :100%	②排ガス規制重 機・車両の使 用:100% ・ハイブリッド重 機・連絡車の 導入:32%



品質・環境活動

建設副産物の発生抑制、削減に関する方針

建設副産物の適正処理と分別収集により、混合廃棄物の削減を図り、再生率の向上に努める。

建設副産物の総排出量 : 67,108.10t (2019年度) 93,724.65t (2020年度) 40,150.20t (2021年度)

排出量内訳

2019年度		2020年度		2021年度	
コンクリートがら	50,681.27t	コンクリートがら	80,391.73t	コンクリートがら	12,629.39t
アスコンがら	2,740.58t	アスコンがら	3,278.21t	アスコンがら	1,264.56t
建設汚泥	648.67t	建設汚泥	306.14t	建設汚泥	23,032.83t
木くず	3,079.24t	木くず	1,447.12t	木くず	1,263.55t
がれき類	6,163.27t	がれき類	6,868.27t	がれき類	686.19t
廃プラスチック	618.95t	廃プラスチック	199.42t	廃プラスチック	224.53t
その他	3,176.12t	その他	1,233.76t	その他	1,049.15t

※2021年度は電子マニフェストの数量を記載

2019年度以降の排出量では、年度により排出量の増減にばらつきが見られますが、分別による収集・処分により混合廃棄物を削減して再生率を向上させ、今後も継続して、3Rの推進と環境負荷の低減に努めていきます。



建設副産物の最終処分量

2019年度 最終処分量内訳	
コンクリートがら	0 t
アスコンがら	0 t
建設汚泥	0 t
木くず	0 t
がれき類	669 t
廃プラスチック	62 t
その他	1,572 t

2019年度 リサイクル率内訳	
コンクリートがら	100.0%
アスコンがら	100.0%
建設汚泥	100.0%
木くず	100.0%
がれき類	89.2%
廃プラスチック	90.0%
その他	50.5%

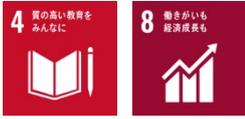
2021年度 最終処分量内訳	
コンクリートがら	0 t
アスコンがら	0 t
建設汚泥	5 t
木くず	55 t
がれき類	6 t
廃プラスチック	7 t
その他	2,076 t

2021年度 リサイクル率内訳	
コンクリートがら	100.0%
アスコンがら	100.0%
建設汚泥	99.4%
木くず	99.3%
がれき類	99.3%
廃プラスチック	99.3%
その他	55.5%





品質・環境活動 環境教育



社員のスキルアップと技術の伝承(若手現場教育)

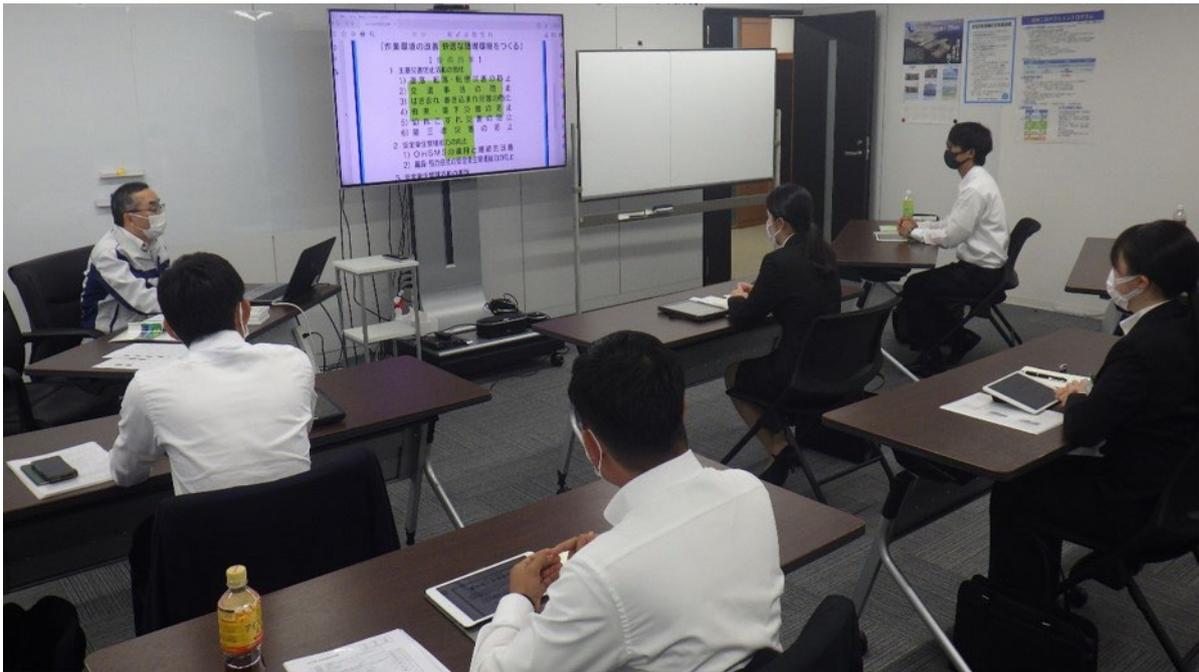


現場安全教育中

若手社員少し緊張気味



階層別 社員教育



一回り成長した2年目社員のみなさん



品質・環境活動 環境教育



現場の環境教育



VRを利用した安全教育訓練



外部の労働安全コンサルタントによる勉強会



現場詰所に AED の設置



実際に体験
雰囲気は和やかに

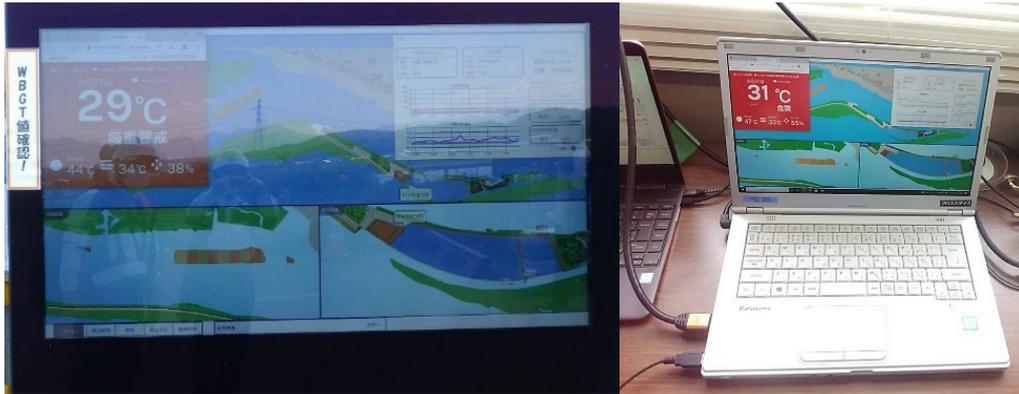




品質・環境活動 現場環境改善



熱中症対策



熱中症対策システムにて可視化



空調服

ファンが回転して服の中が涼しくなります。



コロナ対策

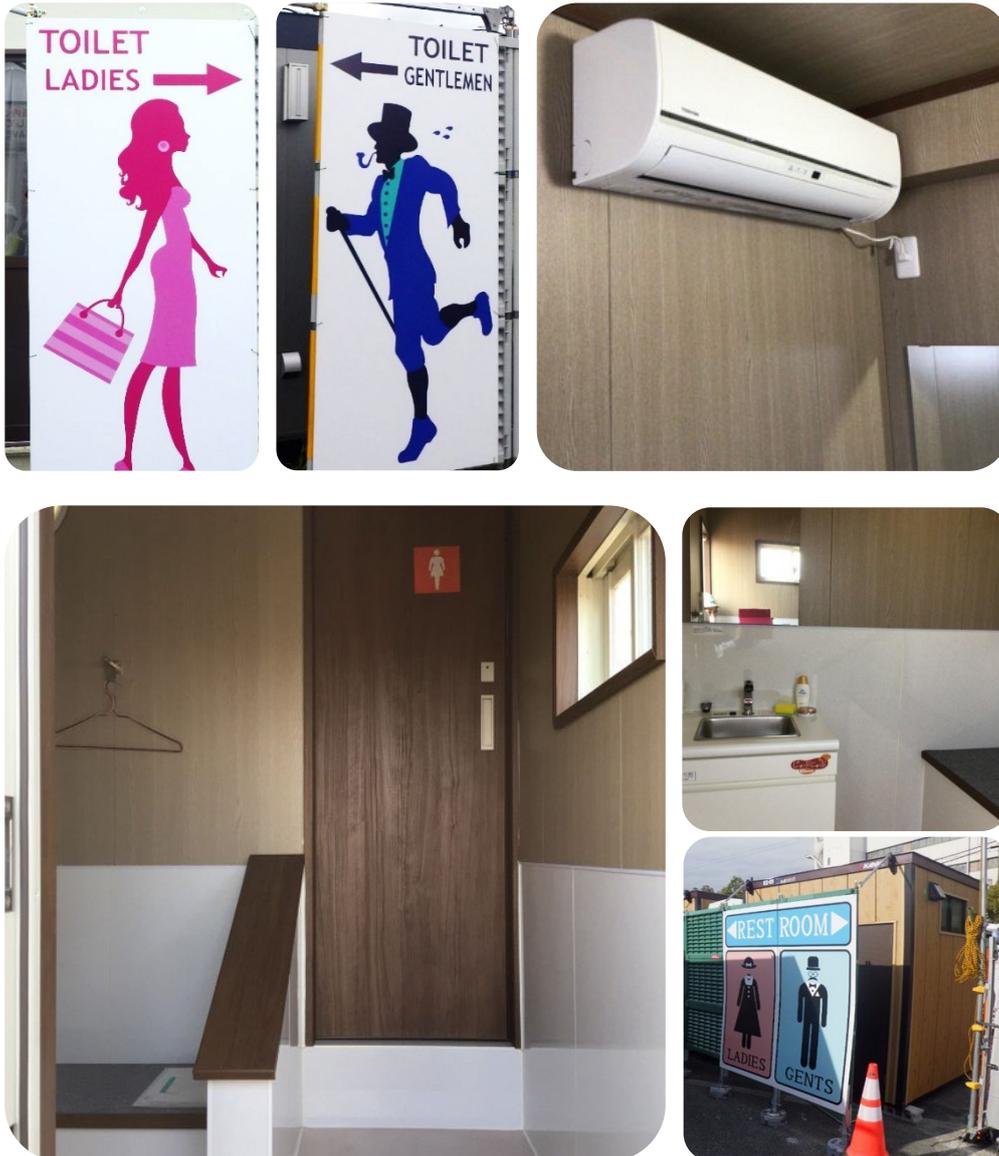




品質・環境活動 現場環境改善



快適トイレ



快適女子トイレの室内



近隣への現場説明掲示



沢山の人に理解してもらえるよう工夫を凝らしました！



現場の作業環境



作業員の方へ癒しの空間を作りました。





品質・環境活動 地域への貢献



清掃活動



大型土のう袋(トンパック)を準備



清掃活動



海岸線のプラスチックゴミの清掃



品質・環境活動 地域への貢献



献血





現場見学会





品質・環境活動 働き方改革



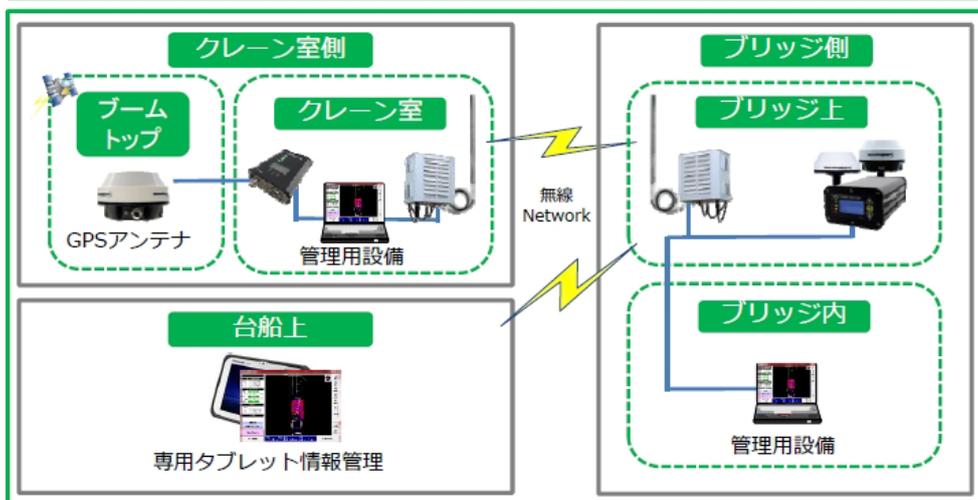
ICT施工

作業船誘導システム

作業船にDGPS受信機と誘導用のパソコン、無線設備などを搭載するだけで、作業船のブーム位置・船体位置の管理を行うことができます。投入管理を行えるほか、船体誘導も同時に実現できより効果的・効率的な施工をサポートします。



システム構成イメージ





ICT施工

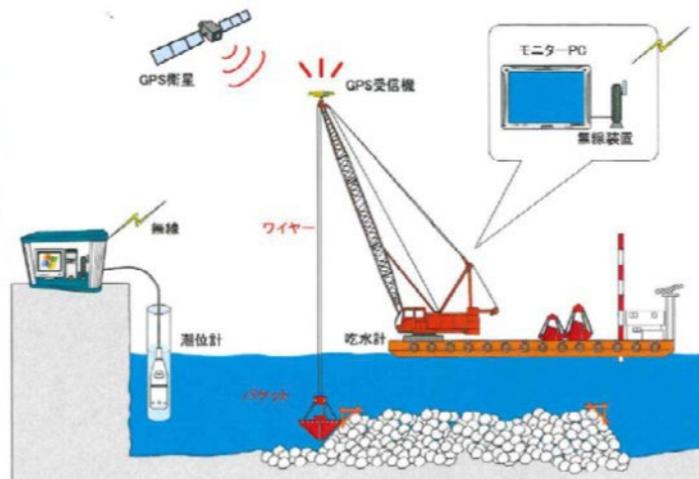
捨石法面均し管理システム

基礎捨石の法面部分の整形を、法面用グラブバケットを使用して行うシステムです。ワイヤーの繰り出し量とバケット設定により、法面を一定勾配に仕上げます。

法面均しにかかる工数を大幅に短縮可能です。



ブームに設置したGPS



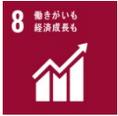
- ・船体およびクレーンブームに取り付けた GPS との連動により、CAD 図面を背景として船体位置、ブームの方向、バケットの位置が画面上に表示されます。
- ・潮位・乾舷の変化による高さの変化は、岸壁に設置した潮位計および船体に取り付けた吃水計により補正されます。
- ・バケット設定は、1割2分・1割5分・2割・3割で設定可能です。



モニター画面



品質・環境活動 働き方改革



ICT施工



ドローンによる 空中写真測量状況



上空撮影・測量



離陸

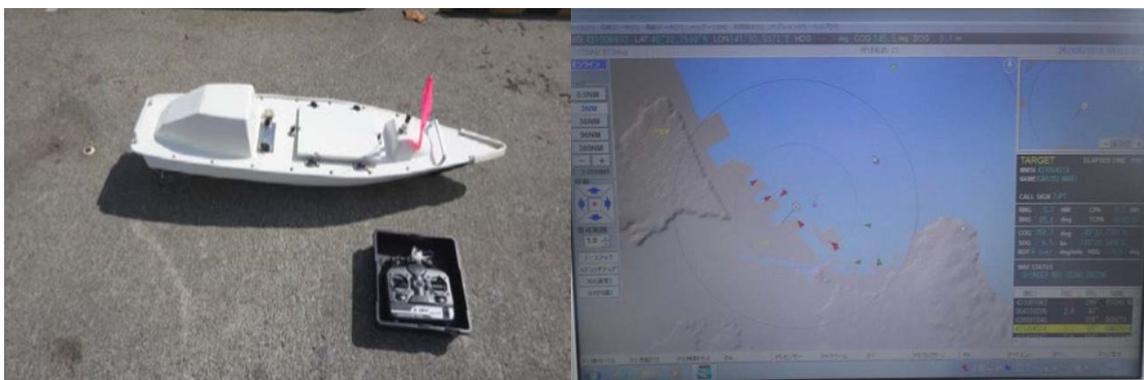


ドローン用ヘリポート

ICT施工



リモコンボートによるストックヤード送泥量の把握



GPS・ソナー搭載自立走行無人ボート

AIS(船舶自動識別装置)



品質・環境活動 自社の環境活動



自社の環境活動への取り組み



竹紙100%パンフレット

紙だからできること「竹紙」

1998年からスタートした国産竹を利用する竹紙の取組みに賛同し、弊社の会社案内(Corporate profile)を竹紙で作成しております。





社内のコロナ対策への取り組み





カーボンニュートラル

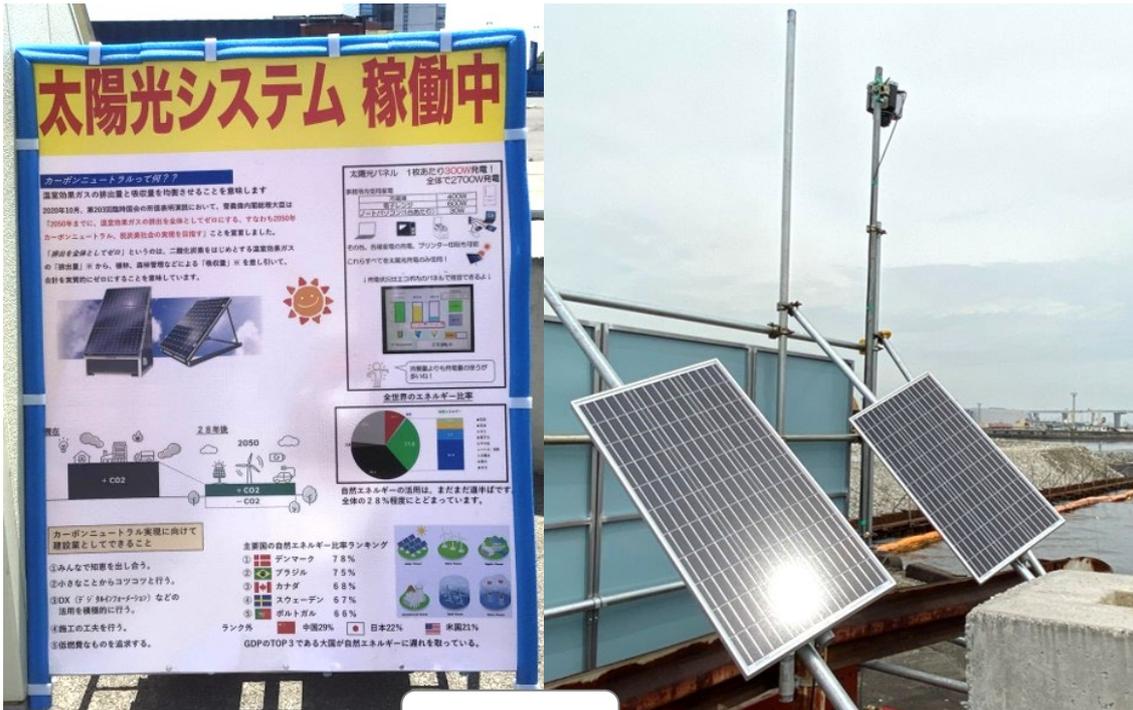


再生可能エネルギー(太陽光)の活用



太陽光システム稼働中

再生可能エネルギー(太陽光)の活用



ソーラーパネル



快適トイレも太陽光システム利用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「私たちがトップインタビュー」

みなさんお疲れさまでした。
笑顔の絶えない取材となりました。



事業所一覧

本 社	〒108-0014 東京都港区芝四丁目 6 番 12 号 TEL:03-6436-3710 FAX:03-6436-3736
北海道支店	〒060-0051 北海道札幌市中央区南一条東一丁目 2-1 太平洋興発ビル TEL:011-221-1292 FAX:011-251-6953
東北支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目 2 番 3 号 鹿島広業ビル TEL:022-713-8016 FAX:022-713-8019 青森営業所 〒039-1161 青森県八戸市河原木字北沼 51 番地 TEL:0178-21-2045 FAX:0178-28-0549
東京支店	〒136-0071 東京都江東区亀戸二丁目 36 番 12 号 エスプリ亀戸ビル TEL:03-3682-8223 FAX:03-3682-8848 茨城営業所 〒310-0803 茨城県水戸市城南 1 丁目 7 番 27 号 香陵駅南ビル TEL:029-306-9527 FAX:029-306-9528 中央営業所 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4 丁目 4 番 15 号 朝日ビル 6F TEL:03-6682-8990 FAX:03-6682-8457 多摩営業所 〒197-0827 東京都あきる野市油平 98 番地 TEL:042-533-3156 FAX:042-533-3157
千葉営業支店	〒260-0032 千葉県千葉市中央区登戸一丁目 23 番 16 号 六羊ビル TEL:043-302-5755 FAX:043-302-5760
横浜営業支店	〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通四丁目 20 番地 F.bid みなとみらい TEL:045-681-2641 FAX:045-681-1506
北陸営業支店	〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山二丁目 4 番 1 号 木山第三ビル TEL:025-246-1336 FAX:025-246-1337
中部支店	〒454-0804 愛知県名古屋市中区月島町 6 番 1 号 TEL:052-618-8791 FAX:052-369-1276 静岡営業所 〒421-0204 静岡県焼津市高新田 278 番 3 号 TEL:054-622-1122 FAX:054-622-1642
大阪支店	〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南一丁目 4 番 15 号 TEL:06-6453-6931 FAX:06-6453-6932 神戸営業所 〒568-0026 兵庫県神戸市東灘区魚崎西町 3-4-3 号 TEL:078-262-1532 FAX:078-262-1533
四国営業支店	〒760-0007 香川県高松市中央町 11 番 12 号 日成高松ビル 502 号 TEL:087-863-6050 FAX:087-863-6051
中国支店	〒730-0037 広島県広島市中区中町 9 番 12 号 中町三井ビル 6F TEL:082-240-2020 FAX:082-247-9080
九州支店	〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町 10 番 1 号 博多三井ビル TEL:092-262-8020 FAX:092-262-8025 北九州営業所 〒801-0081 北九州市小倉北区紺屋町 4 番 6 号 北九州第一ビル 807 号 TEL:093-541-1610 FAX:093-541-1633 有明営業所 〒836-0067 福岡県大牟田市四山町 1 番 TEL:0944-53-1027 FAX:0944-51-2398 沖縄営業所 〒900-0002 沖縄県那覇市曙 3 丁目 7 番 1 号 TEL:098-861-1602 FAX:098-868-7382



ご意見やお問合せ先

管理本部

〒108-0014 東京都港区芝四丁目6番12号

TEL: 03-6436-3710 FAX: 03-6436-3736

 **みらい建設工業株式会社**